

地質ニュース

第468号 1993年8月

口 絵

イベリアの黄鉄鉱帯

.....Antonio ARRIBAS Sr.・佐藤 興平

地震活動と地質構造(1) —花崗岩分布域と無震域の対応—

.....吉田 明夫・大久保泰邦・佐藤 興平・6

Sikhote-Alin の地質と鉱床

.....佐藤 興平・N. I. Lavrik・A. A. Vrublevsky・16

日本水紀行(5) 北陸三県の名水島野 安雄・永井 茂・27

原田準平とその鉱物学.....針谷 宥・39

トルコ共和国の堅実な地熱開発戦略.....玉生 志郎・50

ユニークな地質系博物館(10)

地底博物館「鯛生金山」.....渡辺 寧・61

地質ニュースの配布について 65

学会掲示板 66

地質ニュース原稿作成の手引 68

編集後記佐藤 興平・70

地学と切手P. Q.・49

新刊紹介吉田 尚・38

長谷紘和・63

佐藤興平・64

表 紙

スペインの Rio Tinto 鉱床：イベリア半島の南西端には、世界最大の塊状硫化物鉱床である Rio Tinto をはじめ、黄鉄鉱に富む鉱床が密集しており、Iberian Pyrite Belt と呼ばれる。これらは、石炭紀初期の海底で、酸性火山活動に伴う熱水の作用でできたもので、Rio Tinto に沈澱した黄鉄鉱は5億トンを超えると見積られる。19世紀中頃以降本格的な鉱山開発が進められ、Rio Tinto では現在硫酸原料の黄鉄鉱と2次富化帯の Au-Ag 鉱石が採掘されている。写真の巨大な穴は19世紀末に南鉱体を採掘した跡である。左手(北側)は下盤の変質した酸性火山岩類、右手は上盤の黑色頁岩と砂岩(Culm Group)で、この間に巨大な層状硫化物鉱体(延長1000 m以上、厚さ80 m以上)があった。撮影後この穴は北側に隣接する Cerro Colorado 鉱体のずりで埋め立てられたため、今では見られない。

(写真：School of Mines, Madrid, A. ARRIBAS Sr. ;

文：地質調査所 鉱物資源部 佐藤興平)

通商産業省
工業技術院

地質調査所

〒305 茨城県つくば市東1-1-3

Tel. 0298-54-3520, Fax. 0298-54-3533

Geological Survey of Japan